

会 議 録

会 議 の 名 称	令和6年度第1回上尾市総合教育会議	
開 催 日 時	令和6年7月23日（火） 午前10時30分～11時30分	
開 催 場 所	市役所本庁舎3階 庁議室	
議長(委員長・会長)氏名	畠山 稔（市長）	
出席者(委員)氏名	教育長 西倉 剛 教育長職務代理者 大塚 崇行 教育委員 内田 みどり 教育委員 小池 智司 教育委員 谷島 大 教育委員 矢野 誠二 教育総務部長 加藤 浩章 学校教育部長 瀧澤 誠 教育総務部次長 池田 直隆 学校教育部次長 黒田 正司 教育総務課長 杉木 直也 学務課長 田中 栄次郎	
欠席者(委員)氏名	指導課長 武田 直美	
事務局(庶務担当)	市長政策室長 柳下 貴之、 秘書政策課副主幹 小田川 史明、同主査 黒須 卓見、 同主任 渡辺 拓郎	
会 議 事 項	1 議 題	2 会議結果
	(1) 上尾市学校施設更新計画実施計画について	報告・説明と質疑応答
	(2) 教育活動の取り組みについて	報告・説明と質疑応答
	(3) その他	報告・説明と質疑応答
議 事 の 経 過	別紙のとおり	傍聴者数 1名
会 議 資 料	別添のとおり	

議事の内容・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。

令和6年8月10日

議長(委員長・会長)の署名 畠山 稔 (※原本は自署)

議長に代わる者の署名 _____
(議長が欠けたときのみ)

議事の経過

発言者	議題・発言内容・決定事項
司会(市長政策室長)	<p>皆様、こんにちは。本日は、お忙しい中ご出席を賜り、誠にありがとうございます。</p> <p>只今から、令和6年度第1回上尾市総合教育会議を開会させていただきます。私は本日の進行を務めさせていただきます、市長政策室長の柳下と申します。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>それでは初めに、本会議の設置者であります畠山市長から挨拶を申し上げます。</p>
市長	<p>本日は、定例の教育委員会が開催されたとのことですが、教育委員の皆様におかれましては、日々上尾の教育の発展にご尽力いただき感謝申し上げます。</p> <p>さて、今月26日から、いよいよパリオリンピックが開会されます。上尾市出身の選手として、陸上競技競歩の「岡田久美子選手」、自転車トラックの「太田りゆ選手」そして、バレーボール女子日本代表には、埼玉上尾メディックスより「岩崎こよみ選手」「山岸あかね選手」が選出され、上尾にゆかりがある選手が4人も選出があったことを大変喜ばしく思います。</p> <p>本日は今年度初めての総合教育会議となります。議題は、「上尾市学校施設更新計画実施計画について」と「教育活動の取り組みについて」ということで、「夢を育み 未来を創る上尾の教育」の実現に向けて重要なテーマであると思います。</p> <p>忌憚のない意見交換を行い、今後、上尾の子どもたちが今回選出された4名の選手のように、世界の舞台で活躍できるよう、皆様方とも一層連携を強化していきたいと考えておりますのでご協力をお願い申し上げます。私からは以上でございます。</p>
司会(市長政策室長)	<p>ありがとうございました。ただいま市長の挨拶にもありましたとおり、今回が今年度第1回目の会議となりますので、事務局職員の紹介をさせていただきます。</p>
事務局	挨拶

<p>司会（市長政策室長）</p>	<p>それでは、早速ですが、要綱の定めにより議事を進行させていただきます。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>続きまして、本会議の公開についてでございますが、本会議は原則公開となっております。</p> <p>本日、傍聴を希望される方はいらっしゃいますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>傍聴者が1名いらっしゃいます。</p>
<p>司会（市長政策室長）</p>	<p>只今から傍聴者に入場していただきます。事務局は傍聴者を入場させてください。</p> <p>～傍聴者入場～</p>
<p>司会（市長政策室長）</p>	<p>傍聴者に傍聴上の注意を申し上げます。先ほどお配りしました「傍聴に当たっての注意事項」をよくお読みいただき、遵守するようお願いいたします。注意事項に反することがあった場合には、退場していただく場合がありますのでご了承願います。</p>
<p>司会（市長政策室長）</p>	<p>それでは、議題1「上尾市学校施設更新計画実施計画」について、でございます。</p> <p>本市では、「上尾市学校施設更新計画基本計画」に基づき、新しい時代の学びにふさわしい学校を目指し、計画的に学校施設の更新を推進するため、「第1期上尾市学校施設更新計画実施計画」を令和6年3月に策定しました。</p> <p>実施計画は、基本計画で定めた小・中学校の施設更新に係る基本的な考え方のもと、計画的な学校施設の更新を目的として、更新の実施手法及び実施行程を定めた計画です。</p> <p>今年度から、「上平中学校」や「太平中学校・平方東小学校」の校舎等更新設計に着手し、学校全体の基本設計等が進められていくとのことで、現在の進捗と、今後のスケジュールなどについて、また平方北小学校に関する学校規模の適正化を協議するため、「平方北小学校再編検討協議会」が設置されたとのことですので、その状況について、教育総務部からご説明いただければと思います。</p>
<p>教委事務局（教育総務部）</p>	<p>教育総務部からご説明申し上げます。資料1「上尾市学校施設更新計画実施計画」をご覧ください。資料上段、「1. 小・中学校施設更新」のとおり、上平中学校と太平中学校の体育館の構造的耐用年数が間もなく到来することに鑑み、上平中学校の更新設計業務と太平中学校及び同校に隣接する平方東小学校の更新設計業務を進めているところでございます。</p> <p>上平中学校におきましては、設計業務委託契約の締結を終え、設計業務に着手したところであり、今後、学校全体の配置等を検討する基本設計を行い、その後、新体育館の実設計を進め、令和7年度に設計を完了し、令和8年度には、新体育館の建設に着手、令和9年度の竣工を予定しております。</p>

	<p>また、同校の拡張用用地として、中学校南側の用地取得に向けた交渉を進めております。今回の敷地拡張が実現すれば、同校の校庭が狭小であるために、一部の体育の授業や部活動などを、校舎と離れた「第2グラウンド」に移動して実施しているといった課題が解消できること、また、狭小な現状敷地での建て替えでは必要となってくる、仮設校舎の建設が不要となるなど、経費の面からも効率的な建て替えが可能なものとなってまいります。今後、拡張用用地の測量及び補償額算定のための物件調査を行い、地権者との交渉や農業振興地域農用地区域から除外する手続きなどを進めてまいります。</p> <p>太平中学校・平方東小学校におきましては、現在、設計業務委託に向けた準備を進めているところでございますが、学校敷地が隣接する立地を活かして、小中一貫教育の推進モデルとなるような学校施設の更新を予定しており、令和6年度から8年度にかけて、基本設計及び実施設計を進め、令和9年度から太平中学校の新体育館の建設に着手する予定でございます。</p> <p>続きまして、同資料の下段、「2. 平方北小学校再編検討協議会」をご覧ください。</p> <p>平方北小学校再編検討協議会の進捗といたしましては、通学区域内の住民、保護者や未就学児保護者に対して検討協議会委員の公募を行うなど、委員の選定を進め、先月6月25日の上尾市教育委員会6月定例会において、</p> <p>「上尾市立平方北小学校再編検討協議会委員の委嘱又は任命について」の議案の審議、承認をいただいたところでございます。</p> <p>第1回協議会を7月26日に開催し、今年度は4回の検討協議会を開催する予定となっております。</p> <p>説明は以上になります。</p>
司会（市長政策室長）	<p>ありがとうございました。「上尾市学校施設更新計画実施計画」について一通り説明をいただきましたが、それを受け、市長の方からなにか発言ございますでしょうか。</p>
市長	<p>「上尾市学校施設更新計画実施計画」が令和6年3月に策定され、その推進は、保護者や児童生徒の意見をはじめとした、未就学児保護者や地域の意見を反映していくことが重要であると考えています。</p> <p>それらの意見にしっかりと耳を傾け、着実に進めていってほしいと思います。</p> <p>また、実施計画を策定したことにより、将来に向けた校舎等の更新予定を定めたところを踏まえまして、令和7年度から特別教室のエアコン整備を、使用頻度の高い中学校から順次進めていくことにしました。</p> <p>老朽化した学校更新以外にも、新たなごみ広域処理施設の整備など、今後多くの財政支出が予定されていることから、計画的で効率的な学校施設の更新を進めていくようお願いをいたします。</p>
司会（市長政策室長）	<p>市長の方から、しっかりと声に耳を傾け計画的かつ効率的に学校施</p>

<p>長)</p>	<p>設の更新を進めていくようお願いするといったお話ですとか、特別教室のエアコン整備ですとか、そういうお話がございました。</p> <p>教育委員の皆様は、「上尾市学校施設更新計画実施計画について」ご意見などございましたら、順次発言をお願いしたいと思います。</p> <p>谷島委員お願いします。</p>
<p>谷島委員</p>	<p>この上尾市学校施設更新計画実施計画に関連してなんですけれども、私には今大学生の息子がいて、ずっと野球をやってきたが、当時中学生だったころ私が保護者として見ていた時、先ほどご紹介された上平中学校の第2グラウンドでよく大会があったんですね。</p> <p>よく応援に行くと上平中学校にはグラウンドが2つもあっていいなぐらいに思っていたが、この間、春の体育祭に参加させていただいたときに、校舎の方に車を置かせていただいて、開会式に向かって歩いていて、子どもたちがみんな椅子を担いでぞろぞろ一緒に歩いて、これ大変なんだなというのが、その時初めて実感しまして、こういった上平中学校、それから太平中学校や平方東小学校がご紹介ありましたけれども、こういった長期にわたる更新計画ですけれども、やはり一つ一つ、これからの子どもたちのためにより良い更新になってくれるといいなと期待したいと思います。私からは以上です。</p>
<p>司会（市長政策室長）</p>	<p>ありがとうございます。内田委員お願いします。</p>
<p>内田委員</p>	<p>私は上平中学校の卒業生で、上平中学校でPTAをやっておりましたので本当にありがたいことだと思っております。</p> <p>本当に椅子を運ぶですとかテーブルを運ぶのは本当に大変で、また草むしりですとかそういうのも2つグラウンドがある関係で、2カ所やらなきゃいけないというのは本当に大変だったので、今度1カ所で広げていただけるというのはありがたく思っております。ぜひこの素敵な計画で新しい体育館で子どもたちが、のびのびと勉学に励んでいただきたいなと思います。</p> <p>太平中・平方東小学校の方で先々、小中一貫のモデル校としてこれから計画されていくということですが、一応上尾市内の小学校中学校、上尾中学校区内で小中一貫を目指しましょうということで色々お話が以前あったかと思うんですけれども、やはり隣接していないと一貫を目指すというのはなかなか難しいなというところは感じたところがございます。</p> <p>それを考えれば同じ敷地内に、小学校中学校があれば9年間の義務教育ということを考えるうえではとても良いことではないかなと思っておりますので、ぜひ良い形で進めていただければなと感じたところでございます。以上です。</p>
<p>司会（市長政策室長）</p>	<p>ありがとうございます。小池委員お願いします。</p>
<p>小池委員</p>	<p>今の内田委員さんと同じような意見で、太平中学校と平方東小学校が隣接していて、上尾市での小中一貫というところで、施設共有型の小</p>

	<p>中一貫の施設をこれから計画していく中で、私たち教育委員も色んなところに視察にご同行させていただいて見てきたんですけども、いい所もあれば、ちょっとこれはどうなのかなというのもありましたので、そのあたりをよく精査していただいて、できればこの近隣の所で上尾市の小中一貫の施設は結構いいですねっていうふうに言われる、子どもたち、そこで働く教員の皆さんに利便性が良くて、子どもたちの学びにすごく適した施設を作っていただきたいなというふうにお願いしたいと思います。</p>
<p>司会（市長政策室長） 大塚職務代理</p>	<p>ありがとうございます。大塚委員お願いします。</p> <p>学校施設更新計画に関しては、教育委員会の中で長年検討してきた今、何とか3月に出したということになりますが、やはり今回、上平中・太平中の体育館というところで、もう切羽詰まった状況になっていると思うんですけど、まだ入り口の部分ということで、ここからどういうふうに作り上げていくかというのはやはり平方北小の再編、こちらの協議会をまた経て進めていくということになると思うんですけども、やはり私ども教育委員といたしましてもこういった部分に関して上尾市の方針ということになりますので、ぜひ市長からいろんな意見をいただきながら進めていきたいというところもありますし、私たちもそうですが、やはり今問題となる平方北小、平方地区と原市地区というところである程度検討していかなくてはならないというところが具体的にもう来ておりますので、そういった方々に対しても、私どもも声をかけるといいますか、そういう話をしていきますし、市長からも声をかけていただいてですね、こういう方向で行くんだと、その最良のものを平方地区・原市地区に作っていくんだということを、ぜひ言っていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。</p>
<p>司会（市長政策室長） 矢野委員</p>	<p>ありがとうございます。矢野委員お願いします。</p> <p>大塚委員さんと関連しているんですけども、やはり小中一貫、または統合という保護者や地域の方というのは、かなり敏感に反応されるんですね。</p> <p>本当に十分な説明をしても皆さん全員の意見と一致するとは限らないんですけども、今後いろいろ出てくるかと思いますが、先ほどの説明では、市長からも特別教室のエアコン設置もこれに併せて進めていただくとか、そういった部分もやはり周知していただいたりしながらですね、市民に十分な説明をしながらご理解をいただくという姿勢で臨んでいただければと思います。以上です。</p>
<p>司会（市長政策室長）</p>	<p>ありがとうございます。市長をはじめ各委員の皆様から様々なご意見、新しい取り組みであるので、市長からの発信をというお話ですとか、あとは最終的には子どもの学びにより良いものを、ということでご意見をいただきました。計画的かつ効率的に学校施設の更新に取り</p>

教委事務局（学校教育部）

組むことが大切だと感じたところでございます。

他に委員さんの方から、よろしいでしょうか。

それでは、他に無いようでしたら議題2「教育活動の取り組みについて」に移らせていただきます。

ちょうど昨日ですね、目をキラキラとさせた中学生たちが、ロッキヤーバレーの方に出発されたということで伺っております。

そして、7月20日には、昨年度の上尾市政策企画提案制度で採択された事業で、英語系の地域クラブの創設としては全国初となります「イングリッシュサロン」の第1回目が開催されるなど、いくつか先進的な取り組みがなされていると思います。また、先日テレビ埼玉で、「触れる地球（SPHERE II）」を活用した授業研究会の様子を放送していただきました。ヤフーニュースにも取り上げられ反響があったものかと思います。

現在の「教育活動の取り組み」につきまして学校教育部長から説明をお願いします。

学校教育部からご説明申し上げます。[資料2](#)をご覧ください。部活動地域移行推進事業における「休日の部活動の地域移行の推進」に関するイメージ図となります。令和4年度から段階的に進めてきた事業ですが、令和6年度は、スポーツ庁の「地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業」及び、文化庁の「文化部活動の地域移行に向けた実証事業」に参加し、休日の部活動地域移行に取り組んでまいります。

文化芸術分野に係る部活動地域移行といたしましては、今回、新たに、政策企画提案制度を活用し、英語の部活動である上尾英語クラブ「イングリッシュサロン」を開設いたします。

[資料3](#)をご覧ください。すでに民間事業者へ委託し、参加生徒の募集を進めておりますが、先日、7月20日土曜日に、市内公民館2か所でプレ事業を実施いたしました。初めての試みでございましたが、市内の様々な中学校から参加した生徒たちが、英語を通して積極的にコミュニケーションをとりながら楽しく活動する素晴らしい時間となりました。

今後も、実証事業に取り組みながら、委託業者と協力しまして、生徒募集から活動運営等に係るノウハウの構築を進めまして、魅力ある地域クラブ活動の創設に努めてまいります。

[資料4](#)をご覧ください。英語教育としての新たな取り組みといたしまして、先ほど、ご説明をいたしましたイングリッシュサロンのほかに、「あげおイングリッシュパーティー」を企画しております。

こちらは、市内の小学生を対象として、普段学校の授業で英語を指導いただいているALTの先生たちと、英語を使って楽しく遊ぶ、新しい取り組みでございます。

今年度は、8月5日月曜日に、上尾市立東町小学校の体育館を会場に、楽しくコミュニケーションを取りながら、買い物やオリンピックを模したアクティビティなどにより、生きた英語を学びます。

詳しい内容といたしましては、上尾市の学校ALTの派遣委託業者

	<p>が、その英語指導の専門性を生かし、企画するもので、英語が苦手な子供たちでも、活動していくうちにたくさんの英語に触れ、自然と英語を使えるようになっていく工夫がなされています。</p> <p>その他、以前から取り組んでいる中学生海外派遣や英語弁論大会、ALT 全校配置による英語の授業、文部科学省から教育課程特例校の指定を受けて実施している小学校1，2年での英語活動など、様々な英語教育の取組を実施しているところでございます。</p> <p>続きまして、触れる地球（SPHERE II）の活用についてご説明いたします。</p> <p>資料5をご覧ください。上尾市では、昨年11月にデジタル地球儀「触れる地球（SPHERE II）」及び「触れる地球ブラウザ版」を、市民の方から市内全中学校に寄贈いただき、現在、その活用を始めているところでございます。</p> <p>「触れる地球」は、直径60cmの地球儀に、様々なコンテンツによる地球の様子がリアルに投影されるものでございます。</p> <p>資料6をご覧ください。また、ブラウザ版は、生徒一人一人のICT端末から、「触れる地球」のコンテンツを使用することができます。これによって、生徒一人一人が自分の学習の目的に合った高度な情報を得ることができ、個別最適な学びを推進するうえで大変有効であると考えております。</p> <p>なお、このブラウザ版「触れる地球」につきましては、現在、全国で上尾市のみが活用しているという状況でございます。</p> <p>先日、7月5日に、上尾市立大谷中学校において、この「触れる地球」を活用した授業研究会を実施いたしました。市内のたくさんの教員が参観する中で、生徒は、試行錯誤をしながら必要な情報を得て、自分の考えをまとめ、話し合うなど、積極的な学習活動となりました。</p> <p>この授業研究会は、教育委員の皆様方にもご参観いただきました。また、多くの報道機関から取材があり、この新しい学習ツールへの関心の高さを実感しているところでございます。</p> <p>今後は、「触れる地球」を様々な授業で活用できるよう各学校で教材研究を深めていくとともに、得られた成果を上尾市の学校で共有し、生徒の学びを深められる授業が展開できるよう努めてまいります。</p>
<p>司会（市長政策室長）</p>	<p>「教育活動の取り組みについて」具体的な取り組みについていくつか説明いただきました。</p> <p>ここで、先日放送された「触れる地球」のニュース映像をご覧ください。</p> <p>～ニュース映像～</p>
<p>司会（市長政策室長）</p>	<p>学校教育部からの説明や、ニュース映像をご覧になって、市長なにかご意見ございますでしょうか。</p>
<p>市長</p>	<p>「触れる地球」につきましては、テレビ埼玉やヤフーニュース、埼玉新聞などで大きく取り上げていただきました。</p>

	<p>子どもからの「理解・学びを深めている」といったコメントが非常に印象的で、私も嬉しく感じました。</p> <p>ブラウザ版「触れる地球」は、現在、全国で上尾市のみが導入しているとのことですが、社会科や理科といった教科だけでなく総合的な学習の時間など活用する機会は多く考えられますことから、積極的に活用してほしいと考えております。</p> <p>「部活動地域移行を含む英語教育の取り組み」についても、上尾市は「進んで英語を話せる上尾の子を育てる」ことを目指して、上尾市英語力向上プランを推進しております。特色のある英語教育を実施していると説明いただきましたが、さらに推進するためにも委員の皆様のご意見を、ぜひ本日お聞かせいただきたいと思っております。</p> <p>今回ご説明いただいた内容は、いずれも先進的な取り組みであります。さらに推進し、積極的に市内・外にPRしてほしいと思っております。</p>
<p>司会（市長政策室長）</p>	<p>市長、ありがとうございます。教育委員の皆様はどのようなお考えをお持ちでしょうか。矢野委員お願いします。</p>
<p>矢野委員</p>	<p>このイングリッシュサロン、パーティー、それから触れる地球を使った授業、このイングリッシュの方はまだ私は見ていません。8月5日、それから地元の原市の方には行かせていただこうと思っています。</p> <p>触れる地球の方は、実際にこの授業を観てきました。本当にすごいんだなと。説明してくれる方がいましたが、雲の動きとか、リアルに見られるんですけど、さらには資料としても使えるんですね。そこで出たのが、アフリカ大陸の中での子どもの出生でしたかね。それが色分けで多い少ないのもすぐわかるような、そういったのも見させていただいて、大変これは貴重なものなんだと改めて認識しました。</p> <p>これも全国で初ということですが、英語に力を入れていこうという、こういったイングリッシュサロンの取り組みの今年最初になるわけですが、やはり画期的で先進的な取り組みで、上尾市誇れるなど。他市に誇れる事業だと私は思っています。ぜひともこういった素晴らしい取り組みを持続していただきたいというのが私の要望です。</p> <p>やはり、長い目で見ていかなければならないんですが、なんでもそうですが、持続可能な取り組みとか運営をどうやっていくかというのは立ち上げて、そのままにしているといずれそれは継続できなくなることにもなりかねない。やはりその、進めていく上での状況把握ですよね。それが一番大事なんだろうというふうに思います。</p> <p>ぜひとも、これが長く続けられるように、状況把握の方をお願いしたいという、あくまで要望ということで、私の意見とさせていただきます。以上です。</p>
<p>司会（市長政策室長） 谷島委員</p>	<p>ありがとうございます。谷島委員お願いします。</p> <p>今ご紹介された中で、特に部活動の地域移行に関してなんですけれども、先ほど定例会でもお話したのですが、埼玉県、あるいは全国の</p>

他の教育委員さんとの情報交換会みたいな研究協議会みたいなものに参加させていただいたところで、この部活動の地域移行のことなども情報交換したことがあるんですけども、個人的には私は多分上尾市はかなり取り組みが進んでいる市町村になるのかな、先行して動いているんじゃないかなっていうふうには感じてまして、まだ地域移行するよ、というお話はよく聞くんですけども、形は全然見えていない。教育委員さんの話なんか聞くと、うちの市町村では全然まだどうなるかわかりませんみたいな話が多くて、そういった中、こういった具体的なイメージとか、先ほどのイングリッシュサロンがもう既に始まっているというのは、とてもありがたいなというふうに思うんですけども、実際、これから本格的に令和8年でしょうか。実際の運用面では、いろいろやはり参加費の問題であったり、それから種目による活動の対応の違いだったりということで、課題も多くなると思うんですけども、ぜひ今、進んでいるこの上尾方式というものを強力に押し進めていただいて、地域移行することによって、働き方改革ももちろん進めながら、子どもたちにとって、これまで以上に有意義な部活動になってほしいなと強く思いますので、意見として申し上げます。

司会（市長政策室長）
内田委員

ありがとうございます。内田委員お願いします。

部活動とはちょっと話が別になってしまいますが、イングリッシュサロンの方で、今教科書の採択をやっている中で、今中学校の英語の教科書すごく私たちの子どもの時に比べてすごく難しくなっているなと思っているんです。

やはり小学校で何年か英語を習ってきた子どもたちが、今度中学生になるにあたって、小学校で習ったことを踏まえての教科書になっているので、やはり難しいなと感じています。

また、その教科書の中にはQRコードでネイティブな英語をやっている、とてもいい教科書ができていますけれども、そうやってきた場合により英語を磨くうえでは、やはりこのイングリッシュサロンというのが、とても有意義に活用できるのではないかなと感じています。

ただこれが地域移行の部活動にどう結び付けていくのか、これを部活動として捉えるか、それともまた別にこれは英語教育として小中併せてのサロンとして考えていくかというのが、ちょっと私は違和感を感じているところなんですけれども、いずれにしてもこれから子どもたちが英語教育を目指すうえでとても良いサロンになっているかなというふうに感じています。

これは英語教育の方なんですけれども、また別の方で、この英語とは別なんですけれども、触れる地球の方ですね、こちらについてやはり拝見させていただいて、とても良いものだったと感じています。ただこれが教科書とどう結びつけられるのか、これはコンテンツの会社の方をお願いしていかなくちゃいけないな、というのは教科書に結びついたコンテンツができれば最高にいいものになっているなというのは感じたところでございます。今現在の状態だと、先生がこの地球儀をどう使うのかというのを考えなくてはいけないというのが、やはり

<p>司会（市長政策室長） 小池委員</p>	<p>ちょっと先生方にとっては、負担になってくるのかなというところもあるので、どう結び付けていくのか。これは全体的に先生方がいろいろ考えて、ぜひ良いものというのはわかっているのですが、どのように活用していくかなということを検討していただきたいなというふうに思いました。以上です。</p> <p>ありがとうございます。小池委員お願いします。</p> <p>イングリッシュサロンなんですけども、今7月8月のプレということでやられている、この間も1回やっていると思うんですけども、また9月以降から6会場で、1会場で10回程度ぐらいずつやられるということで、今のところ今年は募集人数というのを最初に募集して決められた人数でそのままその回数をこなしていくということですけども、先ほど言われた、これも持続をしていくという中で、今年実績を残して来年以降続けていく中で、もうちょっと参加したいとか、途中から参加したいとか、という生徒さんとかも見られてくると思うので、そのときに参加できるようなシステムとかというのを考えていただいて、ここに書いてある通り、イングリッシュサロン、誰でも気軽に英語を楽しむことができるというふうに書いてある通りですね、最初に募集した人数だけじゃなくて途中からでも参加して英語に親しんでいくというふうなことができるようになれば、より素晴らしいものになるんじゃないかなと思います。</p> <p>先ほど、内田委員が言われたように、私たちが中学校の時ぐらい英語の教科書を持って最初文法とかそういうふうな感じだったんですよ。今の教科書を見ると、そういうんじゃないなくて、やっぱり聞くこと・話すことを主体としているような感じの教科書の作りになっているので、こういう機会が増えてくれば、英語に慣れ親しんでっていうことが多くなってくるので、そこら辺を今後も研究していただいて進めていただければなというふうに思います。</p>
<p>司会（市長政策室長）</p>	<p>途中ですが、瀧澤部長、今プレサロンをやっていますが、途中参加というのは想定されていますか。</p>
<p>教委事務局（学校教育部）</p>	<p>現在募集に対してすべて埋まりきってはいないので、追加の募集をしていきたいと思っています。</p>
<p>司会（市長政策室長） 内田委員</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>すみません、ちょっと追加で、保護者から見たときにイングリッシュサロンというネーミング的に、なんだろうこのサロンっていうのがちょっと引っかけるところがある。なんとなく英会話を勉強させたいという親の気持ちと、サロン？というのがちょっと違和感を持って。すみません。</p>
<p>教委事務局（学校</p>	<p>これはまだ一応、モデル、試行の段階なので。もしかしたら変わっ</p>

<p>教育部)</p> <p>内田委員</p> <p>司会 (市長政策室長)</p> <p>教委事務局 (学校教育部)</p> <p>司会 (市長政策室長)</p> <p>大塚職務代理</p>	<p>ていくかも。</p> <p>もしかしたらこの1年目があって、ここで英語を学べるんだということ保護者がわかってくれば、また2年目3年目と増えていく可能性はあるんですけど、ただイメージ的に、サロン?というのがあって、すいません。</p> <p>ちなみに20日にやられて、その実際の手ごたえみたいな、何かこの場で説明できることはありますか。</p> <p>そうですね。大塚委員さんも参加されたので。</p> <p>それでは先に、大塚委員お願いします。</p> <p>ではまず、このイングリッシュサロンについてなんですけど、私まず初めに教育委員会の中でこの話を聞いたときに、これ素晴らしいものだなと本当に思いました。</p> <p>私の意見としては、定員人数がありますけど、もっと来て抽選になるぐらい注目されるんじゃないかというふうに思ったんですよ。ですからそういう部分では素晴らしい取り組みをまず始めていただいたということは本当にありがたいというふうに思っております。</p> <p>ただ、前回20日に行ったときに上尾公民館でのことなんですけど、いざ参加人数18人だったんですよ。ちょっと少なかったんですよ。先ほどの教育委員会の中で確認をさせていただきましたら、各会場8割ぐらい埋まっているということで、まだプレということですから、これからというところで定員は埋まっていたきたいなというのがまず第1というふうに思っております。</p> <p>ただ本当に参加していただいた子どもたちがですね、まだ1回目なので確かにALTがこう、かなりハイテンションで、それにちょっとついていけない子どもたちもちょっといるのかなっていう。ハイテンションはそれでもいいんですけどね。そういう子もいるし、積極的に話す子もいました。ちょっとその英語差が最初の時点であるのかなというふうに思ったんですけど、ただこれ回数重ねていくうちにどんどんまずは仲良くなっていうところがあると思うんです。同じ方たちがやるというところでは、仲良くなってより積極的に英語を話す、やっぱり積極性がないと話ができないということになると思うので、そういった部分では回を重ねていくうちにどんどん仕上がっていくと言いますか、上達していくのが見えていくんじゃないかなというふうに思っているんで、こういう形もこういう形でいいのかなと思いました。</p> <p>ただ先ほど小池委員が言われた通り、継続性ができない子も中には出てきてしまうかなと。そういったとき人数が少なくなったときにプラスをすることも一つなのかなとちょっと思いましたので、イングリッシュサロンについてはそのように思いました。</p> <p>続けて触れる地球の方もですね、こちらの方も私も一緒に先ほどの会に参加させていただいて見させていただいて、本当すごいシステム</p>
--	---

	<p>だなど形だなどというふうに思いました。</p> <p>ただ地球儀の形にちょっと注目が行くのかもしれないんですけど、実際はこのデータがすごいですね。ブラウザの方も。このデータは本当にすごいデータが入ってますので、これはどうやって教科書と連携するということもあるかもしれないんですが、興味を示すというところではすごく、いろんなデータが入っているので、使おうと思えばいろんな形で使えるのかなというふうに思いました。</p> <p>ただですね、先ほど持続していくというところに関しては、こういうデータなので、更新ってどのぐらいされるのかということ、本当にリアルタイムで今の空がわかるっていうようなデータなんですね。これというのはやはり更新・通信というかそのリアルタイムでの契約を続けていかないと見れなくなってしまうというところがありますので、予算的にはかかるかもしれないんですけど、寄附していただいた方のためにも、継続して使えるようにしていただく予算もつけていただいて、というふうに思いました。</p>
<p>司会（市長政策室長） 教委事務局（学校教育部）</p>	<p>ありがとうございました。瀧澤部長どうぞ。</p> <p>事務局からすいません。イングリッシュサロンでございますけれども、先ほどの委員会の方で8割程度としておりますけれども、すいません多いところが8割ということで均しますと6割ぐらいの参加率でございます。</p> <p>様子としましては、やはり学校も学年も異なった集団でございますので、やはり子どもたちの中では、第1回ということで、かなり緊張感がありました。</p> <p>だけど、不思議なのは1人1人が意見を言ったりだとかっていうところがまだ恥ずかしさはあるんですけども、ちょっと全体でみんなで声出そうよってところでは結構大きな声が出てるんですね。</p> <p>やっぱり、いろいろやったり積極性っていうのはすごく窺えたと思うんです。ですからこれから回数を重ねるところでグループも慣れてくれば、またアクティビティも変わってくるのかってというような印象を持ちました。</p> <p>あとは、追加募集をしていくことというのも考えております。こちらはそういった所感を持っております。</p>
<p>司会（市長政策室長） 教委事務局（学校教育部）</p>	<p>ちなみに、資料4で、あげおイングリッシュパーティーとありますが、その中で、アゲオナルドでお買い物とかっていうのが入ってるんですけどちょっと説明していただいてもよろしいですか。</p> <p>アゲオナルドですね、担当から説明をいたします。</p> <p>指導課松林の方から説明させていただきます。このイングリッシュパーティーなんですけど、普段から子どもたちと接しているALTの先生が英語の専門性を生かしているというところが大きな目玉です。</p> <p>なので、子どもたちと普段接している中で、よく子どもたちの興味</p>

<p>司会（市長政策室長）</p>	<p>関心をつかんでおりますので、それらを基にしたアクティビティです。具体的にはアゲオナルドでお買い物っていうのは子どもたちが大好きなマクドナルドにかけまして、実際普段の場でお買物を日本語で行うんですね。それが英語に置き換わったらどのような形で買い物をするだろうか。実際にその体験を行うようになっています。</p> <p>もう一つ、こちらでもですね、まもなくパリオリンピックが始まるんですけど、子どもたちの中でもすごく、さっき市長からの上尾市に関わる選手の皆さんの活躍を期待していましたが、子どもたちの中でも今すごく関心が高まっています。そこに絡めまして、じゃあ実際にオリンピックのような種目を英語でやるとどんなことができるだろう、そういうアクティビティを通して、英語だけだとどうしても苦手意識がある子たち、普段の買い物とか、オリンピックに絡めることによって、そこで実際の生きた英語を学ぶことを目的に考えられたアクティビティですので、先ほど学校教育部長の説明にもありましたが、英語が決して得意ではなくても、楽しく普段の英語に触れるというような内容となっております。説明は以上となります。</p> <p>ありがとうございます。イングリッシュサロンの対象は中学生、イングリッシュパーティーの方は小学生、ということでよろしいんですね。</p>
<p>教委事務局（学校教育部）</p>	<p>はい。サロンの方は追加の募集をしますけれども、状況を見て小学生も募集していくと。小学生は非常に活動的なので、それでまた中学生と小学生の関係性も生まれるのではないかなというのでも検討しています。</p>
<p>司会（市長政策室長）</p>	<p>委員の皆様からは、地球儀に対して活用と持続を、というお話がありました。引き続き、よろしく願いいたします。</p> <p>他に委員さんの方から何かありますでしょうか。</p> <p>続きまして、議題3「その他」といたしまして、「スクールロイヤーについて」と「いじめ根絶に向けた主な取り組みについて」を学校教育部からご説明いただければと思います。</p>
<p>教委事務局（学校教育部）</p>	<p>学校教育部から、その他といたしまして、2点ご説明いたします。</p> <p>1点目はスクールロイヤーの活用について、でございます。いじめや学校内外の事故やトラブル、施設の瑕疵など、学校現場における問題への対応方法について、学校が弁護士から直接的なアドバイスを受けることで、問題の未然防止や早期発見を図ることを目的としたスクールロイヤー活用事業を7月1日から開始しました。</p> <p>担当弁護士は、埼玉弁護士会から推薦いただいた森田智博先生でございます。先生は、現在、埼玉県とさいたま市のスクールロイヤーも務められておまして、多くの市でいじめに関する委員会の委員も務められている実績のある方でございます。</p> <p>さっそく7月2日には校長を対象とした研修会を実施し、目的や申請の方法、実際にスクールロイヤーの方から活用事例をご講義いただ</p>

くなどしまして、理解を深めることができました。その反響は大きく、すでに相談を受け付け、対応も始めているところがございます。今後は、教職員向けの研修や巡回相談、児童向けのいじめ予防教室等を予定しているところがございます。

2点目としまして、いじめ根絶に向けた主な取組についてご説明いたします。

令和5年度におきましては、小学校では、1,160件のいじめを認知し、1,072件が解消されております。中学校では、215件のいじめを認知し、165件が解消されております。

この数につきましては、各校の教職員が、「いじめ見逃しゼロ」という意識をもち、児童生徒の様子を観察して、いじめを積極的に認知し、その解消に向け、迅速かつ丁寧に取り組んだ結果であると考えているところがございます。

令和6年7月1日現在、前年度までの未解消件数も含め、小学校は、372件、中学校は、132件がいじめの解消に向け、取組中でございます。また、そのうち、8件がいじめ重大事態として対応しているところがございます。

今後はいじめの解消に向けての各校の支援や取組を進めてまいります。

また、教育委員会として令和6年度はいじめ根絶に向けた主な取組を2つご紹介いたします。

1つ目は、「夢を育み 未来を創る 子供すこやかシンポジウム」でございます。これは、子供の健やかな成長のため、上尾市教育委員会、上尾市生徒指導推進協議会、上尾市PTA連合会と協力した事業となります。今年度は、学校現場でのいじめ防止の取組を発表し合ったり、児童生徒も参加したパネルディスカッションを行ったりすることを通して、より実践的な取組について共有していけるよう、企画をしているところがございます。

2つ目は「上尾市いじめ防止子供サミット」です。本事業は、いじめ防止について、児童生徒自身が主体的かつ実践的な活動を行うことをねらいとしまして、具体的には、各小・中学校の代表児童生徒が参加し、「上尾市いじめ防止子供サミット宣言」を採択したり、「なかよく楽しい学校生活を送るための標語」の選定を行ったりしました。今年度は、昨年度採択しました「上尾市いじめ防止子供サミット宣言」を具体化した手立てを検討するため、中学校区をもとにした小中学校のグループで話し合いなどを計画しております。

学校教育部からは以上でございます。

続きまして、「民間スイミングスクールを活用した水泳授業について」を教育総務部からご説明いただければと思います。

教育総務部から、現在、実施している民間スイミングスクールを活用した水泳授業モデル事業につきまして、ご説明申し上げます。

資料7「民間スイミングスクールを活用した水泳授業」をご覧ください。

司会（市長政策室長）

教委事務局（教育総務部）

<p>司会（市長政策室長）</p>	<p>本市では、「上尾市立学校の水泳授業及びプール施設のあり方基本方針」を定め、令和5年度から民間スイミングスクールを活用した水泳授業のモデル事業を実施しております。</p> <p>令和5年度は、小学校3校、中学校1校の計4校で実施し、児童生徒、保護者及び教員へ実施したアンケートでは、いずれの対象者からも大変高い評価を頂いているところでございます。</p> <p>今年度は小学校6校、中学校2校の計8校に対象校を拡大し、5月から順次、水泳授業を開始しております。昨年度は、学校プールと同様に1学期に実施していましたが、屋内プールの利点を更に生かし、プール施設の通年利用による水泳授業を実施し、その検証結果をもって、本格実施への移行を決定してまいりたいと考えているところでございます。説明は以上になります。</p>
<p>教育長</p>	<p>ありがとうございます。学校教育部から説明いただいた、いじめ根絶に向けた主な取り組みについてですが、引き続き、日頃から連携を密にし、一体となって取り組んでいけるよう、しっかりとした対応を行い、説明していただいたスクールロイヤーなどを活用しながら、いじめ防止に取り組んでいただければと考えております。</p> <p>また、教育総務部から説明いただいた、民間スイミングスクールを活用した水泳授業モデル事業につきましても、先進的な取り組みであると思いますので、取り組みのメリットやデメリットを見定めて、子どもたちにとってより良い水泳授業に取り組んでほしいと考えております。</p> <p>委員の皆様より「その他」についてご質問はありますか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、最後に事務局から連絡でございますが、次回の会議の予定につきましては、年明けを予定しております。定例教育委員会に併せて開催したいと考えております。また、時期が近くなりましたら、ご連絡申し上げたいと思いますので、また参加の方、よろしく願います。</p> <p>本日の総合教育会議は、これで議事はすべて終了させていただきます。皆様のご協力ありがとうございました。</p> <p>それでは、会議の閉会にあたり、教育委員会を代表いたしまして、西倉教育長からご挨拶を賜りたいと存じます。</p> <p>本日、今年度第1回の総合教育会議ということですね、畠山市長、そして教育委員の皆さんと教育委員会で行っている大きな施策、学校更新計画のことや部活動の地域移行に係る取り組み等々についてですね、様々な点で話ができまして、本当に御礼を申し上げたいと思っております。</p> <p>教育委員さんからもありましたけれども、私、教育長の方ですね、少し前ですけれども、他県の各市の教育長さんと昨今の学校教育に係る課題について意見交換や協議する場面がございました。</p> <p>その中で、やはりどの教育長さんも一番大きな課題として挙げられているのが、学校施設の老朽化、統廃合、いじめ、不登校、こういっ</p>

司会（市長政策室
長）

たことが本当に喫緊の課題だということで挙げられておりました、全国的に本市と同じような課題があるということであらためて感じた次第であります。

そういった中で本市では、畠山市長のご理解のもとで、まだまだ他市ではそれほど進んでいない民間スイミングスクールの水泳授業であるとか、あるいはイングリッシュサロンなどの英語教育の充実であるとかそういうことが図られておりました、これも市長部局の皆さんも、教育委員会の施策にも充分ご理解いただきながら、一体となって教育行政を進めていただいているおかげかなというふうに思ひまして、本当にありがたく思っているところです。

今日の総合教育会議でも皆様から多くの貴重なご意見を賜りました。これらを踏まえまして、今後也是可以することはすべてやるぞというふうな気持ちでですね、子どもたちが楽しくて安心して過ごせる学校作り、先生方にとっても、働きやすくて、やりがいを持てる学校作りに取り組んでまいりたいというふうに思います。

皆様には今後も上尾市の学校教育がさらに発展していくための様々な貴重なご意見を賜りたいと存じますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。本日は誠にありがとうございました。

ありがとうございました。皆様、お疲れ様でございました。以上で「令和6年度第1回上尾市総合教育会議」を閉会させていただきます。